

# 会 議 録

会議の名称	第3回上尾市市民活動推進協議会	
開催日時	令和5年10月25日(水) 午後1時30分～午後3時30分	
開催場所	上尾市プラザ22会議室 第1会議室	
議長(会長・会長)氏名	竹井潔会長	
出席者(委員)氏名	竹井潔委員、若原幸範委員、安藤由美委員、丸山広子委員 清水さえ子委員、西嶋秋人委員	
欠席者(委員)氏名	石井清二委員	
事務局(庶務担当)	秋山真吾市民生活部次長、山中幸二市民協働推進課長、 山崎聡市民活動支援センター所長、吉澤昌代主任、大貫明美 (株)社会構想研究所 森すぐる	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	①第4次上尾市市民活動推進計画の素案について ②市民活動推進計画の大項目 基本理念について ③今後の予定	①取組事業・成果指標 ②B案に決定 「みんなで住みよいまちをつくる 市民活動のまち あげお」 ③第4回は12月6日(水)
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 なし
会議資料	①第3回上尾市市民活動推進協議会 次第 ②第4次上尾市市民活動推進計画(案) ③資料1 基本目標の取り組み事業一覧 ④資料2 基本目標の取り組み・成果指標 ⑤資料3 計画の大項目 基本理念について ⑥参考資料 第3次市民活動推進計画 基本目標の取り組み評価総括 (平成31年度から令和4年度まで) ⑦令和5年度上尾市協働のまちづくり推進事業の事業内容について	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>2024年 5月 30日</p> <p>議長(委員長・会長)の署名</p> <p>議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)</p> </div> <div style="text-align: center; flex-grow: 1;"> <p style="font-size: 2em; font-family: cursive;">竹 井 潔</p> <hr style="width: 100%;"/> <hr style="width: 100%;"/> </div> </div>		

事務局	<p>①計画作成委託業者の紹介：(株)社会構想研究所 森すぐる氏</p> <p>②第4次市民活動推進計画の作成にあたって：コロナの影響で第3次市民活動推進計画を見直し</p> <p>③第4次上尾市市民活動推進計画（案）及び資料1・資料2を使って、第3章施策の展開（P12）から各事業、成果指標を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体の活動紹介はホームページを整理して行う。</li> <li>・ボランティア情報はホームページ・SNSで伝える。（成果指標に追加）</li> <li>・市民活動ガイドブック（過去は2019・2022発行）、次回2025を予定</li> <li>・地域デビュー支援事業は令和2年度中止、以降計画より外れる</li> <li>・大学との連携は2大学から4大学へ</li> </ul>
会長	<p>ただ今の事務局の説明で、何かご意見（事業や成果指標について）はありますか。</p>
A委員	<p>SNSをツイッターに限定せず、SNS等という表現に変更してはどうでしょう。</p>
B委員	<p>SNSについて、若者はインスタグラムの利用が一番多いです。お年寄りにはLINE公式が良いと思います。（できれば有料版、無料版は200人まで）</p> <p>活動団体紹介をホームページで公開することに関して、個人情報の取り扱いを深く検討してほしいと思います。</p> <p>ガイドブックに関して、若い子育て世代に対して役に立つのか疑問です。</p>
C委員	<p>「若者向けの情報提供」という表現は、若者限定になってしまうので、書き方を工夫されてはいかがですか。</p>
会長	<p>LINEは広い世代で使えるようになっていますね。</p>
B委員	<p>むすびんは内容や配布方法をもう少し工夫できないかなと思います。全体を見渡せるということで、紙媒体は素晴らしいとは思っています。</p>
C委員	<p>上尾市民は紙媒体を見る人が多く、広報あげおを見て応募してくる人が多い。むすびんもSNS等とうまく取り合わせていけば見る人もいないでしょうか。</p>
A委員	<p>上尾市の公式LINEに広報がそのまま流れてくるようになっているので、むすびんもそこに掲載してもらえば、人の目に触れる機会が増えるのではないのでしょうか。</p>
D委員	<p>取り組みの成果指標のところ、印刷機を使用した件数というのが指標として適切なのかというところですね。</p> <p>また、SNSの更新回数目標が月4回というのは志が低すぎるというのがあります。</p> <p>そもそも新しい計画を作るときは、前の計画を総括すると思うのですが、</p>



	<p>今回の資料だとコロナがあつてなかなかうまく進まなかったというだけの総括では不十分だと思う。コロナによって目標に対してどういう問題があつてなぜうまくいかなかったか、逆にコロナだからこそ生まれたこともあつたと思うので、協働事業のなかでも新しい取り組みが生まれましたし、そういうところを踏まえて計画を作らないといけないと思います。その辺の総括がどうなっているのか確認したいと思います。</p>
事務局	<p>コロナでできなかった何年かの空白期間がありました。基本はあくまでも第三次計画をもとにして、再検討して今回作ったような感じです。確かにコロナ期間にかかわらず続けてきたことや、地域デビューなども人が集まらないのでなんとかオンラインで実施するなどいろいろやってきたのですが、最終的に第三次計画でやってきたことを見直した感じです。</p>
D委員	<p>今となつてはですが、その辺の丁寧な総括が必要かなと思います。</p>
A委員	<p>ご指摘の点は部内でも当然あつて、当初現状値と目標値だけの設定だったのでコロナ禍の影響がわかるように実績値を急遽入れてもらって、冷静に判断したうえで次の目標値を設定するよう話をし、まだまだ不足もあるかと思いますがその辺のご意見を頂ければと思います。</p>
会長	<p>みんなが市民活動できる場づくりについて何かありますか？</p>
B委員	<p>公民館活動の講座が終わった後にグループができることが多いので、公民館との連携ができれば市民活動につながっていくのではないかと思います。また、公民館講座の企画に市民活動支援センターが協働のことを助言したりすれば、もっと広がっていくのではないかと思います。大学生への呼びかけについては、ボランティア頼みでは全く続かないので、大学のゼミと繋がると非常に安定して繋がれるので、市民活動支援センターとゼミが連携できるように意識していただけると嬉しいなと思います。市民活動をする素養を作るという意味で、大学生だけでなく中高生も入れないかなと思いました。</p>
C委員	<p>中高生については、社会福祉協議会が夏休みのプログラムなどでやっているのので、情報交換などの協力だけでよいと思います。</p>
B委員	<p>事業者との連携についてですが、関わってもらう時に、具体的に実行している中での参加でないと企業は取り組みにくいのだと思います。CSRはこちらからアクションを起こさないと難しいのではと思います。自治会については、活動の地域差が大きいので、難しいとは思いますが自治会には若い人材もいるので、自治会の差を埋める取り組みができれば良いなと思います。自主防災活動は、地域の自主防災会があり、その活動は市民活動ではないかなと思います。防災キャンプなどは市民活動だとは思いますが。</p>
A委員	<p>そこは市民協働推進課とよく協議して表現については考えてもらうという</p>



	<p>ことでやりましょう。</p> <p>大学との連携について、行政と大学との連携のイメージが強い文章になっていますが、戸崎公園がうまくいっているゼミの例のように地域とか活動団体・行政とかいくつか掲示した文章のほうが広がっているのではないかと、そういう表現にしたほうが適切かなと思います。</p>
会長	ゼミも専門によってゼミで常にできるか難しいし、継続性もスポット的だったりしますね。
B委員	協働事業の書類作成はハードルが高いので、今更ではあります5万くらいで審査の楽な補助金があれば活動が始めやすいと思いました。
A委員	考える要素は十分にあると思います。書類が多すぎるところもあるので、計画にどう反映できるかは別として、敢えて協議しながら自分たちの事業費の中で考えられる範疇だと思いますので現課のほうで考えてもらいたいと思います。
C委員	登録団体240のうち実際に活動している団体の数字はどの程度でしょうか。
事務局	登録240団体のうち現在活動している団体は150～160団体くらいです。
C委員	表現方法についてはお任せします。
会長	それでは、議題の(2)「市民活動推進計画の大項目 基本理念について」に入りたいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>説明</p> <p>A～D案のなかでどれにしたらいでしょうか</p>
会長	ただ今の事務局の説明で、何かご意見はありますか。
B委員	<p>A案の「幸せ」は定義が難しいと思います。</p> <p>C案だと市民活動が地域課題の活動に限定されてしまいそうです。</p>
C委員	総合計画には協働・自立・共生・独創と4つのカテゴリーがありますが、その中の一つの協働だけここに持ってきていいのでしょうか。
E委員	協働というのは意味が深いし広いのでここで使わないほうがいいのではないのでしょうか。優しくB案でどうでしょう。
会長	<p>それでは多数決を取ります。B案ということになります。</p> <p>副題についてはいかがですか。</p>
C委員	AもBもまちづくりとなっていて、つくるが重なってしまうのでは。
A委員	副題がないという案もありますね。

事務局	では副題はなしということにします。
C委員	気になったのは「上尾市」、「本市」、「市では」という表現を統一してほしいです。
会長	それでは基本理念はB案で副題なしで行きましょう。
会長	続きまして、次第の4その他について事務局からから説明をお願いします。
事務局	<p>4その他の「今後の予定について」ですが</p> <p>①第4次市民活動推進計画について、本日協議会の委員さんからいただいた意見等を反映したものを11月上旬から11月中旬にかけて庁内各課に意見照会を依頼する予定です。</p> <p>②各課の意見等を反映したものを12月6日（水）第4回市民活動推進協議会に提出し、計画の最終案を承認いただく予定です。</p> <p>③（年明け）令和6年1月5日（金）からパブリックコメントにかける予定です。</p> <p>今後のスケジュールについては、以上です。</p>
司会	<p>ご審議いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>本日いろいろなご意見が出ましたので、持ち帰りましてまたいい計画策定につなげていければと思います。皆様ご協力ありがとうございました。以上をもちまして、第3回上尾市市民活動推進協議会を閉会いたします。委員の皆様、大変お疲れ様でした。</p>